

(令和2年度 日本ビクター・JVC ケンウッド退職者の会)

JVCKW シニアクラブ

(文責・総会書記:西郷 治男)

■日時 : 2019. 10. 9(火) 12:00~13:00

■場所 : パセラリゾーツ「BENOA 横浜店」(横浜ハマボール・イアス7階/横浜・西口)

1. 開会 [12:00]

◆はじめに、司会の高石副会長より1年間の物故者5名が紹介され、黙祷が行われた。

<敬称略> 小林文男(八王子市、2018年10月、71才) 鎌田孝雄(座間市、2019年2月、82才) 廣田 昭(茅ヶ崎市、2019年3月、81才) 益見邦光(相模原市、2019年7月、75才) 高野道雄(前橋市、2019年8月、84才)

◆開会挨拶に続き、議長選出の事務局案(六角 学氏)が提案され、承認された。

2. 総会役員選出

◆議長の六角氏が登壇して挨拶の後、書記に西郷が任命された。 <参加者:53名>

3. 会長挨拶 [12:05]

◆菅沼会長は一昨年来の骨髄性白血病で闘病中ながら、スーツにネクタイ姿で参加され、車イスで登壇。昨年にも増して元気な声で挨拶された。

・こんな格好(車イス)で登壇するとは夢にも思っていなかったが、今回で退任することになり今日が最後の挨拶になる。昭和34年にビクターに入って今日まで60年間、会社、労組、関係諸団体といろいろな場面で広く労働運動に関わることが出来、皆さんの大きな協力と支えがあつてからこそ今日までやってこられたことに厚く厚くお礼を申し上げたい。

・このシニアクラブは今年で20年になるが、私は死ぬまでやる決意でやってきた。そのため数年前から健康寿命が大切だと言ってきたその張本人がこの状況であり、自分自身も悔やまれてならない。昨年の闘病報告以降、自宅療養を続けてきたが、3か月前に有料老人ホームに移り、車イスとベッドの往復が日常である。今は医療が充実しており、食欲旺盛で声も大きい、いつまで生きられるかわからず、いつ逝ってもおかしくない状況にある。

・これからは高石新会長を中心に、田代事務局長の新たな発想と行動力で活動の質をさらに高めていってもらいたい。不謹慎かもしれないが、今日を私の生前葬にしてもらえれば、この会をそれなりに過ごさせていただく。(またフラフラ出てきたと言われそうだが・・・)

・最後に、60年間に及ぶ人生でお世話になった各方面の方々、とりわけ労組関係の皆さんに重ねて心から御礼を申し上げ、異例の挨拶とさせていただきたい。(会場から盛大な拍手)

4. 来賓挨拶 [12:20]

◆JVCケンウッド労組・藤田委員長より挨拶。

・第18回の総会をお祝い申し上げたい。はじめに、前委員長の大川は9月末を持って労連会長を退任し、10月1日より復職したことを報告する。

・今総会をもって菅沼会長が退任され、新たに高石副会長にバトンタッチすることになるが、菅沼会長は私が生まれた年にビクターに入社されたとのこと。これまで組合の歴史を作ってくれた菅沼会長、本当に長い間お疲れ様でした。心より感謝申し上げます。

・私たちは退職後、職場中心から自分中心の生活となり、新たな人生のネットワークづくりなどが必要となるが、いつまでも元気で生き生きした生活を送っていくためにはシニアクラブの活動は大切であり、これからも皆さんでシニアクラブ活動を益々発展させて行ってください。

5. 報告 [12:25]

◆田代事務局長より、(1)(2)一括で報告。

(1)平成31年・令和元年度活動報告

<議案書1~3ページ参照>

- ・昨年の活動は「活動記録写真集(カラー保存版)」をご覧になっていることを前提で報告する。
- ・主な行事～2月「鹿芝居(嘶家がやる芝居)」28名、4月「新東京丸乗船と豊洲市場見学」39名、6月「イキイキシニアライブ(狩野さん講演)」26名、7月「円覚寺座禅と写経」16名、7月「カラオケ大会」25名、また上部団体との交流やHP投稿作品など、多数の皆さんが参加された。
- ・総括～①行事参加者数～この一年で本部行事7回、一方で支部行事は5回と若干少ない状況。支部行事参加者数は95名で、本部行事を含めた全体の延参加者数は262名で、延数では昨年(239名)を上回った。参加者数と延数を見ると、本部・支部共にリピーターが多く、参加者の固定化が目立つ。さらに幅広く呼びかけて、多くの参加を求めている。
- ②行事参加率～本部・支部合わせた全体参加率は44.8%で前年(45.9%)をやや下回った。
- ③会員数推移～減少傾向は変わらず。9月1日現在の会員数は212名で、前年度(229名)より17名減。平均年齢は76才(10月現在)。昨年の総会で名称を「JVCKWシニアクラブ」に改め、現会社の退職者加入による会員増への対応をとったが、現時点では加入者なし。

(2) 平成31年・令和元年度会計収支決算報告

<議案書4ページ参照>

- ・収入合計は会費と労組助成費及び前年繰越金で130.5万円、支出合計97.6万円(計画比86.1%)。会員減による収入減という状況の中、本部行事費は行事増による超過分(計画比109.3%)を支部活動補助費(計画比26.6%)でカバー。郵送料13.6万円(計画比113.6%)は参議院選対応の配布物増による。収支残(繰越金)は32.9万円。(前年繰越金36.5万円)

(3) 平成31年・令和元年度会計監査報告

<議案書5ページ参照>

- ・会計監査の飯田氏より「7/31現在の財務諸表について厳正に審査した結果、会計処理はすべて適正であることを確認した」と報告された。 ～ (1)(2)(3)一括し、拍手で承認。

※監査日(9/14)、会計監査・飯田耕治郎氏、白岩仙一氏が立ち合い実施。

6. 議案 [12:40]

- ◆田代事務局長より、(1)(2)(3)(4)の順に第1号～第4号まで、全議案を提案。

(1) <第4号議案> 令和2年度役員臨時改選の件

<議案書10ページ参照>

《会長》菅沼喜久次(退任) → 高石勝巳(現副会長、新任)

《副会長》宮本 信 (新任)

《幹事》浅見 憲一 (退任) → 大高光蔵(前幹事、再任) ～ 拍手で承認。

(2) <第3号議案> 規約改定の件

<議案書10ページ参照>

- ・第5条(会員の資格と権利、義務)に3項を追加。

3.当会に特段の功績があった者を名誉会員として、第9条 幹事会 において決定する。

尚、名誉会員の年会費は終身免除とする。

～ 拍手で承認。

(3) <第1号議案> 令和2年度活動方針に関する件

<議案書6～8ページ参照>

- ・取り巻く情勢認識 ①世界の変遷 ～トランプ大統領の「アメリカファースト」により各国で台頭する「俺だけファースト」。米中の貿易対立エスカレート、北朝鮮の不穏な動きで東アジアの情勢不安、G7の足並み乱れ、英国のEU離脱などから国際協調の機能や相互信頼の低下。

②国内の状況 ～5月の天皇交代で令和の時代スタート。米中の貿易摩擦や日韓関係の悪化による企業や社会への影響。消費税10%導入と今後の生活への影響度、人生100年時代を迎え老後生活の不安、老若の格差拡大、地球温暖化と気温上昇、自然災害への対応。

③私たち ～若年層に限らず中高年の引こもり増加。「あおり運転」増加は「俺だけファースト」の典型、おらかな気持ちが社会の平穏を作り、個人でも心身共に健康で生きられる秘訣。

④シニアクラブ活動方針 ～フラットで、オープンな組織として、誰もが参加でき、相互に啓発・切磋琢磨する組織を目指す。多くの仲間の参加で活動を推進していく。

・重要ポイント ①会員相互の交流 ～人とのつながりが生まれるよう、興味ある企画を提案。

②上部組織との連帯 ～様々な意見交換、視野拡大の機会創出、制度政策要求への参画。

③会員増に向けて ～高齢化で退会者が増える中、新風を吹き込む新会員の加入促進。

(4)＜第 2 号議案＞令和 2 年度会計収支予算に関する件　　＜議案書 9 ページ参照＞

- ・収入は会員数減による会費減収と繰越金減少などで、収入合計 123.3 万円。支出は今後の役員体制による交通費増加、小旗作成費、会費振込手数料値上げ、本部支部活動の合体などから、支出小計 113.3 万円。一方で予備費(残額)は前年を大きく下回る 10 万円(前年 32.9 万円)で、支出合計 123.3 万円とする。　　～ (1)(2)一括し、拍手で承認。

7. 閉会　　[13:08] 議長降壇、書記解任。　　閉会の後、全員で記念撮影が行われた。

■交流懇親会 [13:15～15:15]　　(同一場所で開催)

- ・和やかな歓談の後、恒例の「ビンゴゲーム」を行い、最後は「番号別ジャンケン大会」で勝ち残った 10 名に「行事参加券(3000 円)」、さらに豪華賞品「リゾートホテルペア宿泊券」は(東京)野村泰夫さんに贈呈された。

以上